

土づくり特報



JA となみ野 HP

令和5年9月15日
JAとなみ野米作改良対策本部
となみ野農業協同組合
砺波農林振興センター

高温に打ち勝つ稲に育て、高品質で美味しい『JAとなみ野米』を生産するため、「3つの土づくり」に取り組みましょう。

- ①土づくり資材の施用によるケイ酸等の補給
- ②有機物の施用による腐植及び土壌養分の補給
- ③深耕（15cm以上）による作土層の確保



1 ケイ酸等を含む土づくり資材の施用 「営農日誌」 p85～86参照

○ケイ酸分の施用効果

- ・割粃の発生が軽減され、斑点米（カメムシの被害）が減少する効果があります。
- ・背白粒や基白粒といった白未熟粒の発生が少なくなり、米の品質向上に効果があります。

資材名	施用量 (kg/10a)	ケイ酸 (%)	アルカリ分 (%)	資材の特徴	
ケイ酸質資材	ケイカル（砂）	200	31	48	苦土を含みます
	シリカロマン	100	25	45	リン酸、苦土、鉄分を含みます
	有機加里入りシリカロマン	100	20	36	リン酸、加里、マンガン、鉄分を含み、翌年の中間追肥の省力化が図られます
ゼオライト資材	シンキョーライトP	60	(65.8)*1	—	加里、苦土、鉄分を含み、ゼオライトは継続施用で保肥力が高まります
マンガン資材	パワーグリーン	100	(30～35)*2	36	苦土、マンガン、鉄分を含み、根腐れや秋落ちを防止します

※1 シンキョーライトPに含まれるケイ酸は可溶性成分を保証するものではありません。

※2 パワーグリーンに含まれるケイ酸の割合は含有例で、保証分量ではありません。

2 有機物の施用 「営農日誌」 p85～86、109参照

- ・稲わらに加え、下表のいずれかの堆肥をすき込んで、腐植及び土壌養分を補いましょう。

堆肥名	年内施用量	堆肥の特徴
発酵鶏ふん（ミックス）	150kg/10a	・腐植の増加により、保水性・通気性・保肥力の向上につながります ・「リン酸」や「加里」の補給ができます
牛ふん堆肥 豚ふん堆肥	2t/10a	・発酵鶏ふんに含まれる窒素成分は、速効的な肥効があります ・牛・豚ふん堆肥を連用することで、土壌からの窒素供給量が増加します

- ・土壌中の腐植含量の向上には、ヘアリーベッチ等地力増進作物の栽培・すき込みも有効です。

3 秋耕しの実施 「営農日誌」 p85を参照

- ・稲わらや籾殻の腐熟を促すため、気温が高い10/20頃までに秋耕しを行いましょう。
- ・秋のうちに腐熟が進むことにより、翌年の稲作期間での「ワキ」や「藻の発生」が少なくなります。
- ・秋耕し後は、排水溝の設置と排水口への連結を行い、排水を良くしましょう。
- ・いもち病の発生が見られたほ場は、病原菌を減らすために稲わらや籾殻をすき込みましょう。
- ・ニカメイチュウの越冬幼虫を減らすために、秋耕しが効果的です。

4 収穫後の畦畔・ほ場内の雑草対策 「営農日誌」 p86を参照

- ・斑点米カメムシ類は雑草に産卵し、越冬した卵が翌春に孵化・増殖し、加害します。このため、秋のうちに卵の越冬場所になる畦畔や雑草地を除草しましょう。
- ・収穫後に雑草が多く残ったほ場では除草剤を散布する等、翌年に向けて今から雑草対策に取り組まましょう。

【JA土づくり助成事業】 「営農日誌」 p5、6を参照

▶JAでは、①「地力増進作物の種子代」や「堆肥散布費」、「土壌診断費用」、②緑肥や土づくり資材による土づくりを行う場合に、「フレールモア・ブロードキャスターの購入費」を助成しています。詳しくはJAへご相談下さい。

【お問い合わせ先】 砺波農林振興センター 農業普及課 砺波班 32-8113
となみ野農業協同組合 経済部 生産企画課 32-8619 【einoubu@ja-tonamino.or.jp】
又は、最寄りの支店へお問い合わせ下さい。

支店名	電話番号	支店名	電話番号	施設名	電話番号
中央支店	32-2030	庄東支店	37-0046	稲種センター	82-0117
庄西支店	32-2134	福野支店	22-4320	農業機械センター	58-5520
北部支店	32-3140	井波中央支店	82-1551	資材配送センター あぐり館	32-5440

秋の農作業安全運動実施中（10/20） ヘルメット着用・余裕を持った作業計画を徹底しましょう！